

2025年8月5日

各位

サンヨーファイン株式会社
代表取締役社長 古川 喜朗

バイオGMP設備の稼働について

かねてよりご案内しておりました通り、当社は2025年7月より、ラボスケールでのバイオGMP対応設備の稼働を開始いたしました。

本設備には培養槽（10L）に加え、培養後の集菌・除菌装置、菌体破碎装置、精製用クロマト装置等を備えており、微生物を用いたタンパク質等の製造における一連の工程に対応可能な体制を整えております。

現在、当社では新たな事業領域として、VHH抗体の開発・製造受託サービスの展開を進めており、本設備の稼働により、VHH抗体の受託製造および開発に本格的に取り組んでまいります。当社は2023年4月より、VHH抗体に関する高度な技術を保有する琉球大学発ベンチャー企業「RePHAGEN社」と共同開発を開始し、同社と共同で開発した5種類の抗体をカタログ品として販売しております。

これらの開発過程において、当社がこれまで培ってきた微生物培養技術およびタンパク質精製技術を活用し、独自の製造プロセスを確立してきております。両社がそれぞれ展開していた受託ビジネスを融合させることで、抗体スクリーニングから受託製造までの一貫した開発・製造受託体制を構築いたしました。

すでに多くの企業様およびアカデミアの皆様より、VHH抗体のカタログ品および受託案件について多数のお問い合わせをいただいております。両社の独自技術の強化についても連携して進めております【[VHH抗体受託サービス・カタログ品資料](#)】。

本GMP対応設備により、VHH抗体にとどまらず、微生物生産が可能なタンパク質や遺伝子治療用素材のGMP管理下での開発・製造受託にも対応可能となりました。これにより、当社バイオ事業の領域拡大を図り、顧客獲得に向けた基盤強化を進めてまいります。商業生産を見据え、今後、数千L規模の培養槽を備えたバイオGMP設備まで順次拡充を予定しています。

※VHH抗体：

ラクダ科動物に特有の抗体であり、従来の抗体医薬で使用されてきた抗体とは異なる低分子抗体です。微生物による生産が可能であるほか、温度やpH変化に対して高い安定性を持つなど、創薬や診断薬開発における次世代抗体として近年注目を集めています。

※RePHAGEN株式会社：

琉球大学発のスタートアップ企業。独自のVHH抗体ライブラリーを利用した卓越したスクリーニングシステムを有する国内有数のVHH抗体研究開発企業。

※サンヨーファイン株式会社：

大阪ソーダグループ子会社。医薬品原薬・中間体CDMO企業として製薬企業を主な顧客に持ち、有機合成とバイオ技術を基盤技術として各種開発製造受託を手掛けている。

以上